

## よりスリムになり、ポーチにすっきり収まる 音波振動<sup>\*1</sup>ハブラシ「ポケットドルツ」EW-DS12を発売

スタイリッシュな新色7機種をラインアップ

### 開発の背景

当社は、外出先の歯みがき時に使いやすいよう、さらに携帯性を向上させた、新製品「ポケットドルツ」EW-DS12を4月11日より発売しました。

2010年4月に発売した「ポケットドルツ」EW-DS11は、2011年1月に販売150万台を超え、OLをはじめとする女性を中心にランチ後の歯みがきや外出先での歯みがき習慣を定着化させ、新しい市場を拡大しました。本製品は、本体をスリム化し、カラーリングもグラデーションをあしらった5色とマットイメージの2色、計7色をラインアップしました。

さらに、小型化を図りながらも、約16,000ブラシストローク/分の微細な音波振動<sup>\*1</sup>し、歯ぐきをいたわりながら、しっかりと歯垢を落とし、手軽に歯の表面をツルツルにします。

また、従来のアルカリ乾電池<sup>\*2</sup>に加え充電式電池<sup>\*3</sup>も使用可能です。本体丸ごと水洗いでき清潔に使えます。

当社は本製品により、朝晩に加えて、外出先やランチ後の歯みがきにおいても「電動歯ブラシ」の使用を提案し、さらなる市場の拡大を図ります。

### 主な特長

1) よりスリムになり、ポーチにすっきり収まるスティックデザイン

- ポーチに入る長さ16 cmはそのままにスリム化しました。
  - 本製品：幅1.65 cm、奥行1.8 cm
  - 従来品<sup>\*3</sup>：幅1.8 cm、奥行2.0 cm
- スタイリッシュな新色7機種のラインアップ  
バイオレット (-V)、ビビッドピンク (-VP)、ピンク (-P)、ピンクゴールド (-PN)、ゴールド (-N) の5色のグラデーションカラーと、男性にもお選びいただきやすい白 (-W) と黒 (-K)

の2色のモノトーンカラーをラインアップしました。

2) アルカリ乾電池<sup>\*2</sup>も、充電式電池<sup>\*3</sup>も使用可能

本製品はアルカリ乾電池<sup>\*2</sup>または充電式電池<sup>\*3</sup>1本で、約3か月間使用可能<sup>\*4</sup>。国内はもちろん、海外でも使用できます。本体丸ごと水洗いできる防水仕様。

約16,000ブラシストローク/分の微細な音波振動<sup>\*1</sup>で、手軽に歯をツルツルに

外出した時の歯みがきでも、約16,000ブラシストローク/分の微細な音波振動<sup>\*1</sup>が、しっかりと歯垢を除去しツルツルの歯へ。手磨きと同じように手を動かして磨くことで、手磨きでは難しい微細な振動により、毛束が歯と歯の間に入り込みやすく、より歯の隅々までブラシの毛先が届きます。

さらにブラシ形状は、日本人の口を研究し開発したコンパクトなヘッドで、「山切りブラシ」および「フラットなブラシ」双方の特長を合わせた当社独自の「ダブルエッジ形状」を採用しました。サイドに極細毛を植え付けることで、歯周ポケットにまで毛先が届きやすくし、女性のデリケートな口腔内も、より優しく、しっかりと磨きあげることができます。



\*1: 音波領域内での振動

\*2: パナソニック製をおすすめします

\*3: 当社2010年度発売 EW-DS11

\*4: 1日1回、1回2分使用した場合

◆ 詳細URL ◆ [http://panasonic.co.jp/corp/news/official\\_data/data\\_dir/jn110207-5/jn110207-5.html](http://panasonic.co.jp/corp/news/official_data/data_dir/jn110207-5/jn110207-5.html)

## 家庭用燃料電池「エネファーム」の新製品発売について

～世界最高<sup>\*1</sup>の発電効率のさらなる向上と、よりお求めやすい価格を実現～

### 開発の背景

東京ガス(株)と当社は、家庭用燃料電池「エネファーム」(以下「エネファーム」)の新製品を共同で開発しました。新製品は当社が製造し、東京ガスは4月1日から発売しました。

「エネファーム」は、都市ガスから取り出した水素を空気中の酸素と化学反応させて発電し、発電した電気は家庭内で利用します。そのため送電ロスがなく、また発電時に出る熱も給湯や暖房に利用しますので、環境に大変やさしいシステムです。新製品は、世界最高の定格発電効率(LHV)<sup>\*2</sup>を有した現行品よりも、さらに発電効率を向上させ、また設計の見直しや新技術の採用により、小型化と低価格を実現しました。

両社は、「エネファーム」の普及を通じて、お客さまの快適な暮らしと地球環境の保全に貢献してまいります。

### 主な特長

1) 世界最高<sup>\*1</sup>の環境性能と大幅な価格の低減

発電を行う「スタック」の効率向上などにより、家庭用燃料電池コージェネレーションシステムでは世界最高の発電効率となる、定格発電効率40% (LHV) を達成しました。また、「スタック」および都市ガスから水素を生成する「燃料処理器」の耐久性の向上により、現行品の25%増となる5万時間の運転を可能にしました。発電効率ならびに耐久性を向上したことで、現行品と同等の省エネ・CO<sub>2</sub>削減効果を維持しつつ、定格発電能力を1.0 kWから750 Wに変更できました。併せて、昨今の省エネ家電普及における待機電力の減少傾向などを踏まえた運転を行うため、発電出力の下限を現行品の300 Wから250 Wに変更しました。

発電出力範囲の変更とともに、スタック内の部品の固定

方法を変更するなどの新技術の採用により、基幹部品を現行品と比べて30%～40%小型化することができました。さらに、設計の見直しによる「燃料電池ユニット」のシステム構成の大幅な簡素化を図ることで、部品点数を約30%削減、重量を約20%軽量化できました。この結果、希望小売価格は、現行品よりも約70万円低価格の276,150円(税込、設置工事費別)を実現しました。

2) 業界最小<sup>\*1</sup>となる設置スペース

発電を行なう「燃料電池ユニット」の形状を縦長に変更し、お湯をためておく「貯湯ユニット」と連結して一体設置できるようにすることなどにより、設置に必要な面積を現行品と比べ、最大で約1/2<sup>\*3</sup>に削減し、業界最小の約2 m<sup>2</sup>となりました。

3) リモコン表示を大型化

現行品と比べ、リモコン(台所設置)の液晶画面を約76%大きくし、発電実績やCO<sub>2</sub>削減効果などが見やすくなりました。

また、光熱費やガス・電気の使用量の目標を設定できるなど、楽しみながら、省エネ、省CO<sub>2</sub>活動を行なっていただけます。



\*1: 家庭用燃料電池コージェネレーションシステムにおいて(2011年2月9日現在、当社調べ)。

\*2: 低位発熱量基準(Lower Heating Value)の略。燃料ガスを完全に燃焼したときの発熱量から水蒸気の凝縮潜熱を差し引いた値。(対比: HHV=高位発熱量基準, HHV≒0.9×LHV)

\*3: 設置条件によって異なります。

◆ 詳細URL ◆ [http://panasonic.co.jp/corp/news/official\\_data/data\\_dir/jn110209-1/jn110209-1.html](http://panasonic.co.jp/corp/news/official_data/data_dir/jn110209-1/jn110209-1.html)